

感染状況・医療提供体制の分析(10月27日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (10月20日時点)	現在の数値 (10月27日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	41人 (2.2人)	29人 (1.5人)	→	総括 コメント	レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	11人 (27%)	4人 (14%)	→	新規陽性者は<u>人口10万人当たり1.5人</u>と減少も、県南東部の新規陽性者増加、また、接触歴不明者も約半数存在。夜間滞留人口は増加後横ばいで推移。秋のリバウンド防止期間が終了することからも、新規感染者の動向に注意が必要。ワクチン接種推進、接種完了後の感染対策継続など、現在の取組みを維持する必要がある。<u>感染者数を低いレベルで抑え込みながら、リバウンドを防ぐべきである。</u>	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	10人	20人	→		
		県南西部	13人	4人	→		
		高梁・新見	0人	0人	→		
		真庭	0人	0人	→		
		津山・英田	18人	5人	→		
医療提供体制	市中潜在・ ③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	19人	13人	→	総括 コメント	レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる
		割合 (③/①)	46%	45%	→		
	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		19人 (3%)	10人 (2%)	→	総括 コメント	入院患者・宿泊療養者数減少し、通常の医療が提供できている。
	⑤宿泊療養者数		23人	9人	→		
	⑥自宅療養者数		16人	14人	→		
	⑦重症者数		2人	1人	→		